

乳腺外科、循環器・呼吸器外科（旧第二外科）、消化器外科Ⅰ（旧第一外科）
および消化器外科Ⅱに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] **FFPE** 組織検体の固定条件と核酸およびタンパク品質との関連性についての検討

[研究機関] 北海道大学病院（病院長 寶金 清博）
ゲノム・コンパニオン診断研究部門、病理診断科、乳腺外科、循環器・呼吸器外科、消化器外科Ⅰ、消化器外科Ⅱ

[研究責任者] 畑中 豊（ゲノム・コンパニオン診断研究部門・特任准教授）

[研究の目的] ホルマリン固定パラフィン包埋（**FFPE**）組織検体標本の作製手順とその質について評価する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

乳癌、肺癌、胃癌、大腸癌を含む消化器癌の患者さんで、2010年1月から2016年6月までの間に、北海道大学病院の上記診療科にて手術を受けられた方。

●利用する検体およびカルテ情報

検体：手術によって切除され、その後標本作製のための処理をした組織（ホルマリン固定し、その後パラフィン（いわゆるロウ）に埋めた組織）の一部。（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：病理診断名

[研究実施期間] 実施許可日～2019年9月30日

[個人情報の取り扱い]

以下の「医療機関および研究機関等」で利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。院内で測定ができない場合は、以下の「外部測定機関（予定）」に測定をお願いする場合がありますが、その場合個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを

特定できる個人情報を利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院 病理部/ゲノム・コンパニオン診断研究部門

研究責任者 畑中 豊

Tel: 011-706-5716

[研究に関わる機関]

・医療機関および研究機関等

北海道大学病院

(研究代表機関責任者: ゲノム・コンパニオン診断研究部門 畑中 豊)

北海道医療センター

(研究分担機関責任者: 外科・外科系診療部長 高橋 宏明)

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

(研究分担機関責任者: LCM 部門 田口 直子)

・外部測定機関

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社